

第24回「震災対策技術展」横浜2020 出展実施報告書

1. はじめに

令和2年2月6、7日に「第24回震災対策技術展2020・横浜」がみなとみらいパシィコ横浜にて開催された。セミナー開催は6日(木)、震災対策技術展の展示ブース出展を6日(木)～7日(金)に実施いたしました。また、セミナー開催と展示ブース出展につきましては、ご多忙ながらも防災支援委員会各位および神奈川県支部各位の格別なるご支援を賜りましたこと、ここに厚く御礼を申し上げます。以下に、セミナーおよび展示ブースの出展結果を報告致します。

2. 会場全体概況

専門家や有識者による最新情報や研究成果を広く公開するセミナー・講演会は6日(木)36セッション、7日(金)38セッションもの規模で開催された。展示会は187団体・企業の開催規模にて、1,000点を超える最新技術が紹介された。

震災展イベント事務局からの速報では、両日とも天候に恵まれ、多数の来場者がおとずれた。展示会場全体では、初日に8,825名(昨年9,610名、対前年比8.2%減)、2日目に8,287名(昨年9,441名、同12.3%減)、2日間合計17,112名(昨年19,051名、同10.2%減)、の来場者であった。例年増加傾向にあった来場者の約10%減少は新型コロナウイルスが国際的に拡散する状況が懸念され、出席予定者が大規模展示会を控える気運があったものと思われる。

3. セミナー

「防災の日常化 - 自主的防災を継続的に機能させるために必要な工夫 -」
(アネックスホール2階-H会場)

(1) 概要

事前のWEBの事前申込みは100名弱であった。6日のセミナー来場者は資料配布数で95名が参加した。当日の会場は、ほぼ満席の状態であった(写真2)。

セミナーの司会と冒頭の挨拶は日本技術士会防災支援委員会の野村貢委員長(写真3)が行い、基調講演は、関西大学社会安全学部 准教授小山倫史氏が限界集落における「防災の日常化」に関して行った。セミナーでは資料として基調講演資料(論文)、「突然の大災害」「技術士と日本技術士会の社会貢献」「日本技術士会パンフ」「技術士って?」「防災カード」

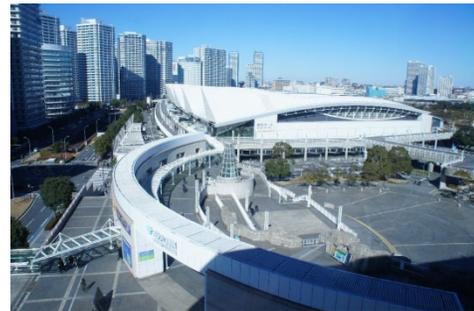


写真1 パシィコ横浜全景



写真2 セミナー会場



写真3 挨拶 野村貢委員長

(2) 基調講演 (小山倫史氏 関西大学社会安全学部 准教授(写真 4))

1) 主旨

近年、集中豪雨や台風等による土砂災害が多発している。こうした災害が懸念されているのは、山間部の限界集落が多い。集落の地域防災力の向上のためには、防災訓練などの普及活動をすれば十分というのではなく、各地区内の「共助」、各個人の「自助」を中心に地域防災を日常化する必要がある。

本講演では福井市の限界集落での「住民参加型」の計測・モニタリング活動が住民の防災活動の日常化にどのようにつながるか、住民の土砂災害に対する危機意識の変化に及ぼす影響などが説明された。



写真 4 基調講演 小山倫史准教授

2) 講演のポイント

事例: 福井市高須町

想定される災害: 集落全体の地すべり

集落の概要: 集落全体が地すべり地にあり、集落内に急傾斜地、危険個所が多数存在する山間集落

日常化の方法: 観測機器を設置し、住民自らが危険個所を監視する仕組み

概要

- ・住民の土砂災害に対する危機意識を調査し、町内の危険個所において OSV による「住民参加型」の計測・モニタリングの方法を提案。
- ・より多くの住民が日常生活の一部として危険個所の計測・モニタリングが行えるように、町内の住民の行動パターンや生活のリズムをより詳細に把握。
- ・観測結果の記録方法については、より多くの住民が日常的に高頻度で計測・監視が行えるよう簡略化を図る必要があった (例えば、IC カードの活用など)。
- ・コスト、労力の点から機器のメンテナンスフリー化が必要。
- ・斜面の計測・モニタリングを継続し、データの収集を行うとともに、「住民参加型」の計測・モニタリングが防災活動の日常化にどのようにつながるか。
- ・住民の土砂災害に対する危機意識の変化に及ぼす影響などを今後継続的に調べていく予定。

3) 住民参加型計測・モニタリング装置の紹介

- ・野村委員長より海外事例を含む計測・モニタリング装置の紹介。

4) セミナーに関するアンケート結果 (n=66)

1) 参加者割合 (図1)

・会社員が55%と大多数を占め、次いで公務員 (12%)、防災関係者 (12%) となっている。技術士会関係者は全体の11%である。

2) 参加目的 (図2)

・『テーマに関心があった (58%)』、『講師メンバーと講演項目に関心 (21%)』で約80%と多数であった。

3) 内容の満足度 (図3)

・『大変満足(3%)』、『満足(42%)』の合計で45%であった。また、『不満』、『やや不満』は14%であった。『防災の日常化』が都市社会における日常をイメージして参加された方が多く、講演の事例が斜面崩壊という災害リスクを有する限界集落であったため、タイトルから受けるイメージどことなる印象を持たれた方が多くいたようである。意見として寄せられたものの代表例をいかに示す。

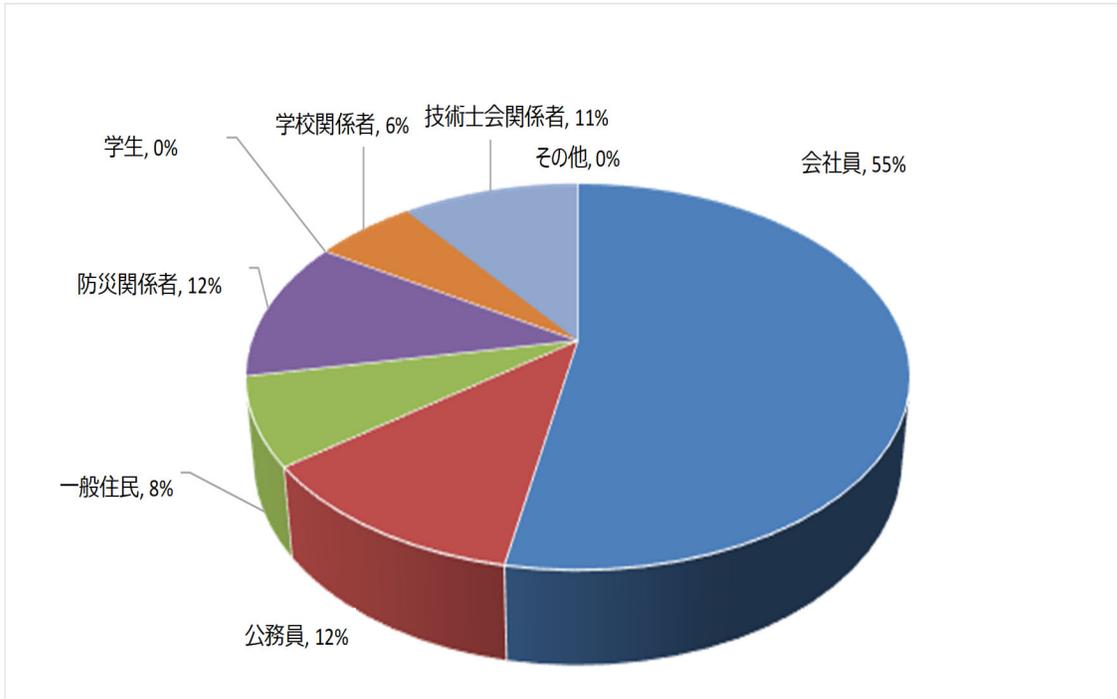


図 1. 参加者割合

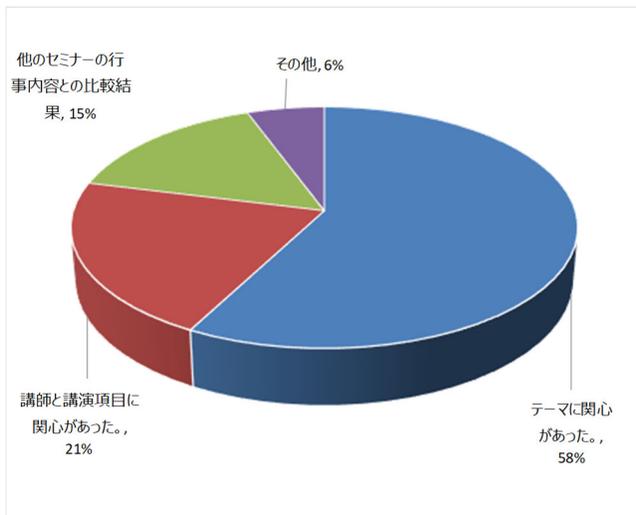


図 2. 参加目的

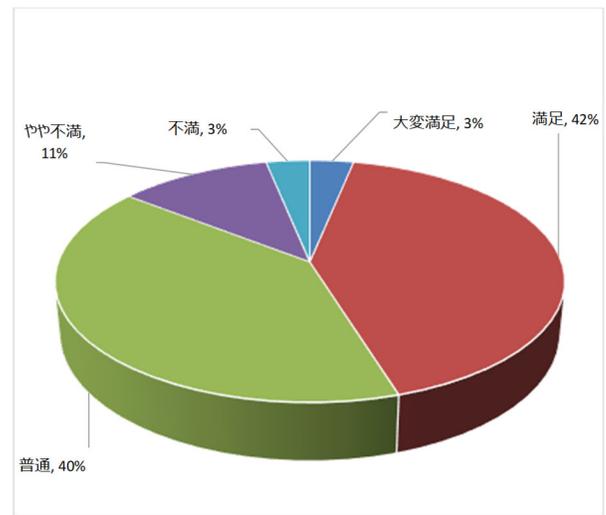


図 3. セミナー内容の満足度

【講演内容】

- ・(満足) 防災の日常化に向けた行動記録は面白かった。

カードリーダーのような最新機器を防災の日常化に生かしている点が興味深い。

- ・(満足) 住民参加を継続するのは課題が多い事が感じられる。
- ・(満足) 問題点が良く分かりました。
- ・(満足) 限界集落での防災の難しさを知った。防災の日常化について都会版があれば聞いてみたかった。
- ・(満足) 防災一辺倒では長続きしない楽しくないということが参考になった。楽しく学ぶ防災が住民にとっての知識になることを知りました。
- ・(普通) 気付きがあって初めて使ってもらえたのが面白かった。日常に落とし込むことはなかなか難しいと言うことが良く分かった。地域をよく知ることが大事なのだろう。
- ・(普通) OSV分かりやすいセンサーでいいと感じました。住民のモチベーションの持って行き方を考える必要があるという事が分かった。
- ・(普通) 防災一辺倒では長続きしない、楽しくないということが参考になった。楽しく学ぶ防災が住民にとっての知識になることを知りました。

【配布資料】

- ・あとからホームページよりダウンロードできるのはよい。

【今後のセミナー企画への要望】

- ・防災の日常化では研究成果そのものよりも成果を通じて一般の人たちにどのように使ってもらえるのか。どう生かしてもらおうのかの視点の説明に重点を置くのが良い。

【感想】

過去5回の講演会と比較して、今回は途中退席が少ないとは言えなかった。講演タイトルと講演内容の乖離を指摘しているアンケートがいくつかあるが、途中退席者はおそらくアンケートを書いていない方が多いと思われる。途中退席の主たる要因は、講演タイトルと講演内容の乖離にあると推測できるのではないかと。次回は聴講者に講演内容が分かりやすい講演タイトルにするように気を配る必要がある。

4. 展示ブース(No.175日本技術士会)

1) 展示パネル

- ① 日本橋浜町エリア減災マップ 2020
- ② 防災クイズ 2 枚
- ③ 避難所での環境改善
- ④ 神奈川県技術士会の紹介
- ⑤ 神奈川県技術士会の取り組み内容(2部)

2) 配布資料

配布した資料は以下のパンフレットを用意した。

【配布資料】(送付数量)

- ・突然の大災害 600部(展示300、資料展示コーナー300) + 英語版50部
- ・技術士と日本技術士会の社会貢献 300部
- ・日本技術士会パンフ(青) 300部
- ・技術士って? 300部
- ・封筒 300部
- ・ペン(防災ライト・笛付き)400本

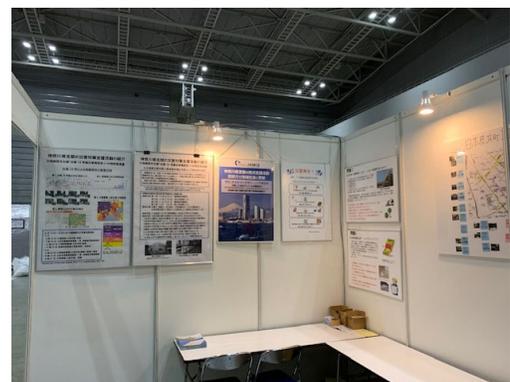


写真 5 展示ブース No.103(全景)

①防災カード

セミナー会場と展示ブースとを併せて「防災カード」の準備部数を2日間で合計1,250(展示会場とセミナーを含む)部配布した。

②配布資料

展示会場とセミナーで資料一式を配布した。

- ・展示会場 91冊
- ・セミナー 95冊

③冊子「突然の大災害」

上記展示会場、セミナーのほか資料展示コーナーにて250部配布

④ペン(防災ライト・笛付き)126本

展示パネルに回答いただいた方にペンを配布した。



写真 6 小山先生を囲んで(懇親会)

5. おわりに

今回展示を通じて、技術士会の知名度UP、防災支援委員会の活動のPRは少なからずできたのではないかと考えている。ブース来訪者との会話の中で、神奈川県議会議員の防災委員の方が来場された。今後と県防災に関する活動の情報交換を進め神奈川県との関係を図っていくことが提案された。

防災支援委員会として、常日頃のWT活動や士業連携による防災支援活動の広報の場として、また、地域住民や防災関係者との意見交換の場として継続的に参加していくことが必要と考えられる。

(記録 佐藤(貢))

【参加協力者(敬称略)】

- ・2/3(月)荷物とりまとめ、宅配にて会場に送付。佐藤(貢)
- ・2/5(水) 15:00～展示ブース設営：幾野、下條、佐藤(貢)、松山、伊藤、稲田、神奈川県支部 小原
- ・2/6(木) セミナー：本村、上野、松山、折田、野村、國安、関、秋田、田村、加藤、佐藤(貢)、神奈川県支部 浅岡、小原、松浦、吉田、(松田)
- ・2/6(木) 展示：本村、内田、上野、折田、野村、関、幾野、関、加藤、佐藤(貢)、神奈川県支部 AM戸引、PM佐藤
- ・2/7(金) 展示(8名)：下條、折田、幾野、関、折田、関、秋田、加藤(AM日本技術士会「防災カード」ピックアップ)、佐藤(貢)、神奈川県支部岡田(誠)、小原

参考資料

- セミナー アンケートデータ